

外来診療担当医表

野上病院

平成24年5月現在


		月	火	水	木	金	土	日
内科	9:00~12:00	川口・島田	上野(寿)・林	石橋	邊見	川口・上野(寿)	上野(寿)	
	14:00~16:00	島田		石橋				
	14:00~17:00	上野(寿)	林	川口	川口・大野(基) 武田	生駒		
循環器内科	9:00~12:00	葭川	葭川	葭川	葭川		下角	
	14:00~17:00					葭川		
外科 消化器外科 肛門外科	9:00~12:00	金川	小畑	野上(浩)	金川	野上(浩)・大川	小畑	
	14:00~16:00					小畑		
	14:00~17:00		大川	金川				
	16:00~17:00					野上(浩)		
眼科	9:00~12:00	上野(豊)・岡崎	上野(豊)・岡崎	上野(豊)	上野(豊)・岡崎	上野(豊)・岡崎	京大(第1・3週) 日赤(第2・4・5週)	
	14:00~16:00	岡崎						
	14:00~17:00	上野(豊)			上野(豊)・岡崎	上野(豊) 岡崎(16:30分迄)		
耳鼻 いんこう科	9:00~12:00	山根(11:00迄)				箕輪	山根	
	14:00~17:00		八谷		森中			
皮膚科	9:00~12:00	池田(第1・3・5週) 石黒(第2・4週)		国本		国本	稲葉(第1・3・5週) 奥平(第2・4週)	松中(第1週)
	9:00~11:00						松村(第1・3週) 上門(第2・4週) (第5週)休診	
泌尿器科	9:00~12:00				楠見			
	10:00~13:00	西澤						
脳神経外科	9:00~12:00				寺本		木下	
リウマチ科	14:00~16:00			西村				
リハビリテーション科	9:00~12:00	上野(寿)	野上(浩)	西村	平野	小畑	川口	

専門外来	禁煙外来	プラセンタ外来 (火曜日午後)	肛門科	リウマチ外来	糖尿病外来	肝臓外来	膠原病外来 腎臓(人工透析)外来
	野上(浩)	林	金川	西村	石橋・島田	武田	大野(基)・生駒

※内科・循環器内科・外科・消化器外科・肛門外科・女性外来・眼科・リウマチ科の診察は、一部予約制となります。※診察時間等の変更等もありますので、ご確認下さい。

のがみ泉州リハビリテーションクリニック

		月	火	水	木	金	土	日
整形外科	9:00~12:00	野上(倫)	西村 装具(野上)	野上(倫)	西村	野上(倫)	田中(第1・3・5週) 岡野(第2・4週)	
	16:30~19:00	野上(倫)				野上(倫)		
	17:00~19:30		野上(耕)	西村				
内科	9:00~12:00					大野(基) (プール検診)		
	17:00~19:30	大野(基)				大野(基) (16:30~19:00)		
リハビリ	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	
	14:00~15:30	物療	物療	物療	物療	物療		
	17:00~19:00	物療	物療	物療		物療		



発行 2012年5月
編集 野上病院 院内新聞委員
泉南市樽井1-2-5
TEL 072-484-0007

サービス付高齢者向け住宅

若葉が薫るころとなり、日中汗ばむ季節となりました。今年の基本方針は「患者様に寄り添う医療」を主なテーマとして、患者さんのサービスの徹底をめざすことにしています。また、医療安全対策、感染対策を最重点項目として取り組んでいく方針です。地域連携の一つとして、糖尿病教室や禁煙教室などの市民公開講座を開催し、地域に開かれた病院としての役割を果たしたいと思っています。今年度の事業計画の一つとして、サービス付高齢者向け住宅の開設を計画しています。この住宅は居室の広さや設備、バリアフリーといったハード面の条件を備えるとともに、ケアの専門家による安否確認や生活相談を提供する施設で、各種サービスを利用しながら生活を継続することもできます。食事サービスについては委託事業者より365日3食(治療食も)提供可能であり、その他野上病院の敷地内にあるという利点を活かし、急病などの緊急事態が発生しても、即医療の提供ができ、普段の健康相談やリハビリ、看護などの医療サービスについても、野上グループから提供可能です。まさに多種多様なサービスを受けられる複合型のサービス付高齢者向け住宅といえます。完成すれば、地域の高齢者の皆様の憩いの場としてお役にたつことができると信じています。



院長 野上浩實

5月5日の端午の節句

端午の節句にどのような起原があるのかご存知ですか？端午の節句の起原は、古代の中国にさかのぼります。古来より中国では、5月には厄払いの行事が盛んに行われていました。端午の「端」は文字通り「はじめ(最初)」の意味で、「午」は「うま」つまり端午とは、五月の最初の午の日に行われるという意味です。最初は必ずしも五月五日ではなかったようで、午と五のゴロが同じことからこの行事は、やがて5が重なる重五の日、つまり5月5日に大切な厄払いの日として定着しています。日本でも奈良・平安時代には5つの節句(人日・上巳・端午・七夕・重陽)が取り入れられ、5つの節句は貴族の間では、それぞれ季節の節目の身のけがれをはらう大切な行事として、薬草を摘みに野

に出て、その薬草を貴族に配ったり、悪鬼を退治する為に午から弓矢を射たりしたそうです。その中の一つ「端午(たんご)の節句」が後に「子供の日」となったとのこと。また、日本ではこいのほりを掲げる習慣があります。こいのほり(鯉幟)とは昔、日本の風習で、江戸時代に武士で始まった端午の節句である旧暦の5月5日までの梅雨の時期の雨の日に、男児の出世を願って家庭の庭先で飾られた紙・布・不織布などに鯉の絵柄を描き、風をなびかせる吹流しを鯉の形に似せて作ったほりの事を言い、またの名を皐幟(さつきのほり)とも言われています。現在は新暦5月5日まで飾られ、夏の季語として用いられています。飾られる季節も変わり、イメージは「晩春の晴天の日の青空にたなびくもの」となりました。

